



在宅医療・介護における

急変初期 対応講座

在宅RESUCUEコース

在宅療養の現場で支援者が課題と感じている「急変時の対応」について、報告・連絡・相談の適切なあり方等を演習で実践的に学びます。「転倒してるのを発見！動かして大丈夫・・・？」「様子がおかしい・・・どう他の職種に伝えよう」「窒息？心停止？何をどこまですればいいの？」そんな日々の訪問やケアでの悩みを解決します。

2025 **7.5** 土曜

第1部 9:30-12:00 (18名)

第2部 13:30-16:00 (18名)

会場 あやべ・日東精工アリーナ 研修室

対象 医療職・介護従事者等（市内在勤）

※在宅RESUCUEコースを今後も継続して綾部市で開催を検討しています。インストラクターとして活動いただける医師・看護師の方のご参加も検討ください。

受講無料 | 定員 **36** 名
(第1部・第2部 各18名)



講師・インストラクター

京都府立医科大学
宮本 雄気 医師

その他 在宅RESUCUEコースインストラクター
「日本在宅ケア急変初期対応システム普及協議会」

事前学習

eラーニング(1時間)

参加申し込みされた方は、当日までにeラーニングによる講義の受講が必要です。

演習

急変時の初期対応

発熱時、意識消失時、心肺停止時の初期対応を全て受講できます。

申込方法

×切 6月27日(金)

QRコードからお申し込みください。
第1部・2部とも同じ内容ですので、どちらか選択して申してください。
定員になり次第申込を締め切ります。

事業名・綾部市在宅医療介護連携推進事業（多職種連携学習会） 主催・綾部市在宅医療介護連携推進協議会/綾部医師会/綾部市
後援・京都府中丹東保健所

お問い合わせ

綾部市地域包括支援課 ☎ 0773 - 42 - 4262

✉ chiikihokatsu@city.ayabe.lg.jp